

カンボジア幼児教育の質改善事業

◆事業正式名称

カンボジア・バタンバン州の公立幼稚園における幼児教育・保育の質改善事業
※JICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)

◆事業実施団体

静岡県
公益社団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA)
社会福祉法人天竜厚生会

◆事業目的

- ① 静岡県を主体とし、SVAのカンボジアにおける長年の教育支援の経験と天竜厚生会の幼児教育・保育の専門性を活かし、カンボジアの幼児教育・保育の質を改善する。
- ② カンボジアの幼児教育に係る需要・ニーズを日本各地のリソースと積極的に結び付け、国際化を支援することによって日本国内の活性化を促進する。

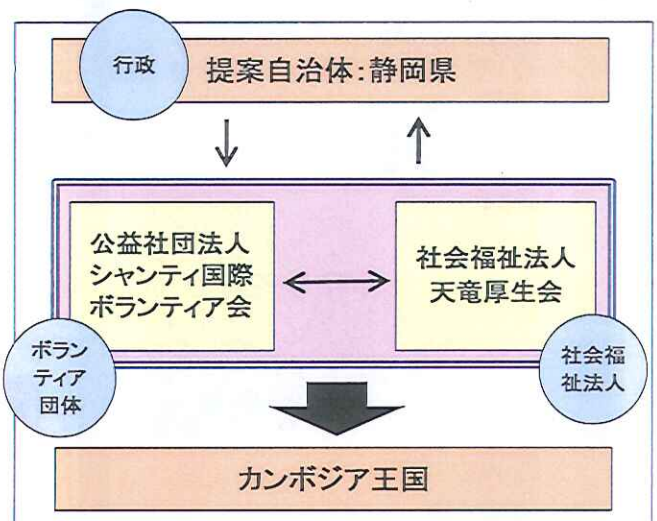
◆事業期間

平成28年1月～平成30年12月(3年間)

◆事業概要

カンボジアは、「万人のための教育(EFA)」の6つの目標の一つである乳幼児のケアおよび教育(ECCE)の拡充に大きな課題を抱えた国である。発育障害の子どもの割合は32.9%に上り、周辺諸国と比べて高い。また幼い子どもの発達を促進する適切な幼児教育・保育の不足は初等教育にも悪影響を及ぼしている。カンボジア政府は「教育戦略計画(2014-2018)」で幼児教育を7つの重点分野の一つとして位置づけ、アクセスの拡大や教育の質の改善に取り組んでいるが、目標水準からは著しく乖離しており、早急な支援が必要とされている。

そこで本事業は、静岡県内で14の保育所と2の幼稚園を運営し幼児教育・保育の分野で幅広い知見と経験を有する天竜厚生会と、カンボジアにおいて教育支援で長年の経験を有するシャンティ国際ボランティア会が協力し、静岡県のバックアップの下に、カンボジアでの質の高い幼児教育・保育の普及を目指す。天竜厚生会及びシャンティ国際ボランティア会の共同タスクチームにて、バタンバン州の36の公立幼稚園に、効果的な教授法(おはなし、教材制作、ゲーム、場づくり)と幼児にとって魅力的な教室環境を導入する。同時に質の高い現職教員研修プログラムの開発と教育省及び州・郡教育局の能力強化を行い、本事業の効果が将来的にバタンバン州全体及びカンボジア全体に波及することを目指す。さらに本事業を通して、静岡県における保育士の資質向上、グローバル人材の育成、国際協力の理解の促進及び草の根の国際交流の推進を行う。



- ① 幼児教育に係るマニュアル・ガイドブックの作成
- ② 行政・教員・地域住民を対象とした研修会の開催
- ③ 日本での能力強化研修の開催
- ④ 天竜厚生会職員によるカンボジアでの直接指導
- ⑤ 幼児教育の啓発活動

...etc.

<カンボジア>

行政機関の能力強化
幼稚園教員の能力強化
教室環境が改善される
幼児教育の重要性の理解促進
⇒ 幼児教育の質向上

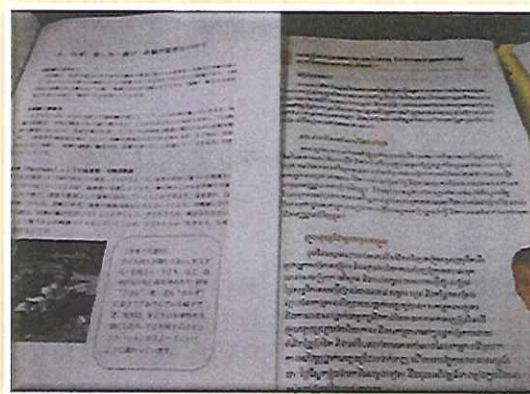
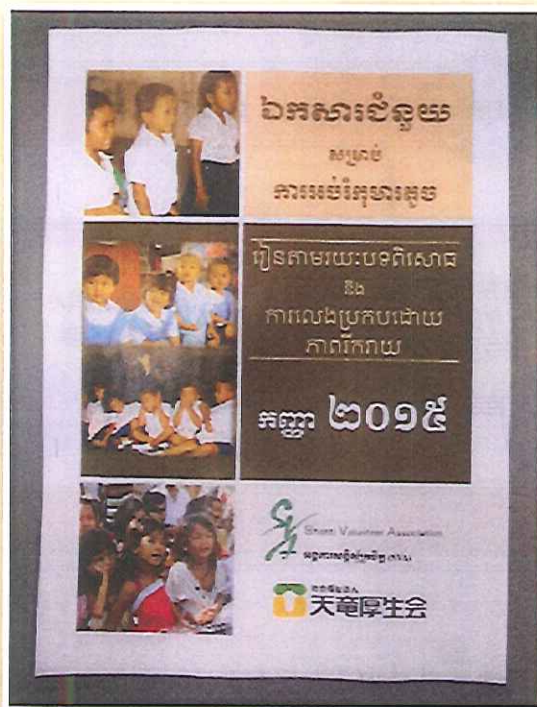
<日本>

保育士の資質向上
グローバル人材の育成
国際協力の理解
草の根国際交流の推進



本事業の取り組みをブログで紹介しています!!
「天竜厚生会チーム・カンボジア」で検索してみてください♪
(ブログURL → <http://blog.livedoor.jp/tenryukohseikai/>)

マニュアル・ガイドブックの発行



なぜ幼児教育が必要なのか、また、具体的にどのように実践をすれば良いのかを伝える「マニュアル」「ガイドブック」を、シャンティ国際ボランティア会と協同のもと発行しました。
日本語で作成したものが、一度英語を経由し、カンボジアの母国語であるクメール語へと翻訳され、現地の幼児教育関係者の皆様の元に届きました。

現地指導



年3回カンボジアを訪問し、幼稚園での活動のモニタリングや研修会を通じて現地教員の直接指導を行います。

カンボジア現地との打合わせはスカイプを活用します。



打ち合わせ